

令和6年度 今治市しまなみの駅御島指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市しまなみの駅御島
所在地	今治市大三島町宮浦3260番地
指定管理者	名 称 株式会社大三島ものづくり 代表者 代表取締役 村上 恭雄 所在地 今治市大三島町宮浦3260番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、使用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課(問合せ先)	総合政策部 交流振興局 観光課 T E L : 0 8 9 8 - 3 6 - 1 5 4 1 E - mail : kankou@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	今年度も、利用者数が増加しています。運営コストの削減に努めるとともに、コロナ禍で需要の高まった、電話注文による地方発送や、今年から需要が高まってきたお歳暮や贈り物としての、柑橘の箱入りの需要に注力して、収益の改善に努め、当施設の設置目的、並びに、遵守すべき法令、平等利用を求める市条例等を順守し、令和6年度を無事に運営することができました。	A	適正に事業が履行されており、地域住民や観光客等の施設利用者対応についてもおおむね問題はない。 職員が施設の設置目的や運営管理の基本方針をよく理解し、地域に根差した管理運営が実施できている。
利用状況	B	今年度の利用者数については、海外からのお客様が更に増えた為、増加しています。加工室においては、若穂会の利用が無くなりました。うどんコーナーは、従業員の都合が付きまして4月から営業を再開しました。シャワー室の利用者は、前年よりは少し減りましたが利用を希望される方は一定程度いらっしゃいます。	B	インバウンドやサイクリストの増加等もあり、利用者数は増加しており、集客における一定の成果が見られる。 来年度も利用者増となるよう、加工室や自主事業での新たな取組をしていただきたい。
事業収支	A	今年度も少しではありますが、利用者数が前年より増加しました。特に電話注文による発送に注力した結果、リピーターの方が増え、収益も増加しました。今年度の傾向としては、贈答用での柑橘の箱入りの需要が増えてきたように思います。これからもお客様のご要望に応えられるように努力いたします。懸念事項としては、物価の高騰による経費の増加がありますが、出来るだけ人件費、交通誘導費、清掃・植栽費、維持修繕費等を次年度も役員各位の協力を要請するなど工夫して経費削減に努め、収益の改善に努めたいと考えます。	A	昨年度に引き続き、電話注文による柑橘類の販売を通じて収益増を図ることができており、非加工品収入が増加につながっている。収支が大幅に黒字になった点について大いに評価できる。 今後も経費削減に努め、健全な管理運営を行っていただきたい。
管理運営体制	B	今年度は、うどんコーナーの再開に向けて、4月に新しく2名雇用ができました。未経験者で有りましたので、日本食研に研修をお願いして、指導して頂きました。新しい体制になって約1年、職員が業務に慣れて順調に運営できてきています。これからも管理運営業務を実施するために必要な業務執行体制を確保するように努力いたします。	B	人口減少や高齢化の影響で人員確保が難しい中、人員を2名確保し、うどんコーナーの再開にこぎつけることができた点は大いに評価できる。 引き続き、適切な職員配置を行い、管理運営に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	A	今年度も、あまり過度にならない程度の感染予防対策をして業務を行いました。施設や器具等の老朽化が進み、器具の故障等が増えていますので、順次修理交換を進めています。トイレ清掃に関しては、トイレ清掃の専属職員で管理できるようにしました。これからも地域の方々、並びに、お客様方に少しでも気持ちよく喜んでお越しいただけるように努力していく所存です。なお植栽、清掃、保守、警備、施設修繕等は役員と職員が一体となって業務基準量に基づき適切に管理、運営しております。	A	仕様書に基づき、適切な管理運営業務を実施できている。施設や備品の老朽化により故障が多くなっているが、適切に修理交換が行われている点について評価できる。 今後も安心・安全な施設運営ができるよう、日頃のチェック体制や点検作業、備品の修理や施設の保守などにおいても適切に対処していただきたい。
利用業務	B	今年度は、利用者数が少し増加しましたが、それに伴い、利用料収入も増加してきましたが、今年も温暖化による影響で、高い気温が続きましたので、当道の駅の主力商品の柑橘の確保に影響が出たため、期待していた程の伸びにはなりませんでしたが、シャワー室の利用者数は、レンタサイクルを利用した後、シャワー室を利用する方がおられましたが、レンタサイクルの休止の影響も有ったせいか少し減少しました。これからも利用者様のニーズに応えながら、各施設利用者の増加を図り、地域に貢献できるよう、努めて参ります。	B	主力商品の柑橘の確保が難しい中でも、利用者数、利用料金収入が増加しており、一定の評価ができる。 今後は観光客やサイクリストなどの積極的な受け入れを行い、「道の駅」のリーダーやファンの増加につながるよう、施設の運営・サービスの提供をお願いしたい。
その他業務	B	今年度は、省エネルギー対策として、今治市と協議の上、優先順位をつけて照明のLED灯への交換に努めました。その他の管理業務についても問題なく運営できたと考えております。また、万が一の事故発生時の対応についても、常日頃から職員教育を行ってきたことにより、災害時の避難場所となる場合の被害者の救護、応急措置を講じることや関係機関への緊急連絡方法などについて周知徹底を図ることができていると考えます。各役員も2名ずつ毎月交代で担当月を決めて管理しており、緊急時の連絡体制も整っております。	B	大きなトラブルや事故はなく、「道の駅」の管理運営ができている。万が一の事故発生に備え、職員教育を実施するなど、防災に対する意識づけが常日頃からされている点については評価できる。 今後も一層、利用者や職員の安全・安心につながるよう、利用しやすい環境の整備に努めていただきたい。
修繕業務	B	今年度は、老朽化による器具の故障が多くありました。緊急性のあるものは、指定管理者負担で行いました。照明に関しては、LED灯へ交換が必要な照明器具が数多くあるため、優先順位をつけて対応いたしました。今後のLED灯の交換についても今治市と協議の上、計画的な対応を検討したいと思います。照明以外の設備についても、老朽化による修理が必要な設備については、部品交換などで対応しています。また、軽微な修理については、役員が対応しています。	B	市と協議しながら適切に修繕業務が行われている。指定管理者の努力により自主的な修繕が行われている点は大いに評価できる。 今後も新たに利用者の利便性向上を図る上で必要であると考えられる修繕箇所については、優先順位を決めて計画的な修繕を行っていただきたい。
備品管理業務	A	今年度は、POSレジシステムの入れ替えが行われました。入れ替えに伴い発生した整備箇所については、修繕業務で対応しました。日々の備品管理を適切に行い、備品の長寿命化を図るとともに、今後も利用者のニーズに応じた新規備品の購入に努めてまいります。	A	施設の運営状況を把握し、適切な備品管理が実施されている。新しいPOSレジシステムの導入に際してコンセントの不足が発生したが、指定管理者で修繕対応した点は評価できる。 今後の備品の購入についても、市と協議をしながら検討し、適切に備品管理を行っていただきたい。
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	今治市公有財産事務取扱規則に基づき使用許可申請し、適切に運用を行いました。今年度は、4月から、うどんコーナーが再開できました。自動販売機に関しては、業者の都合で、4月から1台減りましたので、少し売り上げに影響があったようです。また、収益は施設の維持管理運営費に充当しています。	A	今治市公有財産事務取扱規則に基づき適切に運用できている。うどんコーナーを再開したため収益増を図ることができている。 今後は利用者のニーズに応えるような取組を実施し、満足度の向上につなげていただきたい。また、引き続き収益を適切に充当していただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
自主事業	B	しまなみの駅御島の自主事業は、販売促進のために役員が地域のイベントに積極的に参加して多くの協賛イベントを実施しています。今年度も各種団体より依頼のあったイベントに参加しました。今年度中止となった事業につきましては、役員が地域の行事に世話役で参加することが多くなり、人員の確保が難しくなってきた影響です。活動内容の見直し等協議して、これからも地域貢献ができるよう努力いたします。	B	地域のイベントへの参加や協賛イベントを実施しており、販売促進につながっている点は評価できる。 今後は限られた人員の中で、利用者増となるような事業が実施できるよう活動内容を見直すとともに、利用者のニーズを踏まえた新たな事業やイベント等の実施に期待する。
地域団体との連携	B	今年度は、各イベントも通常開催となりました。各イベントには、役員も運営スタッフなどで協力しましたが、しまなみの駅御島でのイベントは、スタッフ不足で、何件か中止となりました。これからも地域の各種団体からの要望には、できるだけ答えられるように、連携協力してまいります。	A	地元の地域団体との連携は非常に評価できる。様々な団体との協力体制ができしており、地域に密着した「道の駅」を強みとして、引き続き取組を実施していただきたい。
利用者アンケート	B	利用者数も、売上の方も上向いてきています。今年も、柑橘の出始めのころに気候が安定せず、酸の抜け具合が悪いなどの問題もありましたが、マドンナの出荷が順調に伸び、コレクト注文、贈答品等での箱売りが増えて売り上げも伸びています。近年柑橘の新しい品種が増え、お客様に好評です。これからも利用者様に、気持ちよく利用していただける道の駅になれるよう努めてまいります。	B	アンケートの実施等、適切な取組ができている。柑橘については気候条件などにより品質や収穫量が変わるが、品物の確保ができしており、おおむね良好に事業が実施されている。 今後も利用者の生の声を施設運営に反映させ、利用者の利便性を高められるように努めていただきたい。
事故・苦情	B	今年度は、経年劣化による故障は有りましたが、幸いに事故や大きな災害も無く、無事に運営することが出来ました。万が一の事故発生時の対応については、防火管理者である駅長や副駅長が、災害時の避難場所となる場合の被害者の救護、応急措置を講じることや関係機関への緊急連絡などの方法等について周知徹底を図ることができています。各役員も2名ずつが毎月交代で担当月を決めて管理しており、緊急時の連絡体制も確立しています。	B	大きなトラブルや事故の発生はなく、適切に管理運営できている。指定管理者13年の経験におごることなく、職員のスキルアップに日々努めるなどし、事故・苦情への迅速な対応がとれるよう管理運営体制が構築されている。 次年度も利用者の安全・安心に配慮した運営を実施していただきたい。
指定管理者の経営状態			○会計帳簿、貸借対照表及び損益計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。 ○指定管理者の経営状況については、財務諸表から利益剰余金を確保していることが確認でき、指定管理施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められた。	

総 合 コ メ ン ト （市）
指定管理者は、今治市しまなみの駅御島条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務の履行が適正に実施されていると認められる。前年度から利用者が増加し収支が黒字となっていたが、今年度もうどんコーナーの再開等によって売上が増加したことや経費削減を行ったことで、収支の黒字が続いている点については大いに評価できる。加工室や自主事業についても利用者数の増加に向けた取組に期待し、これまで築き上げてきた地域コミュニティとのつながりや各種団体との連携をより強固なものとし、利用者の利便性向上に努めていただきたい。施設の設備についても、老朽化した備品や修繕箇所等については市と協議し、利用者が快適に使用できる環境を整備するなど、今後も「道の駅」のファンや施設利用者の獲得を目指し、取り組んでいただきたい。